

(例1) 34名の生徒の数学のテストの結果は、次のようであった。  
平均点と標準偏差とを求めよ。

67 95 64 76 96 64 91  
75 100 38 81 83 100 70  
58 63 57 97 64 43 86  
87 54 74 54 63 74 73  
72 47 82 50 71 88

○Mあり電卓を用いる場合 (10桁のもの)

この例で、 $n=34$ です。まず、平均値  $\bar{x}$  を求めるキー操作は、

$$\bar{x} = \frac{\sum x}{n} = \frac{67+95+\dots+91+75+\dots+88}{34}$$

↑ここからキー操作

(注) ( )内の数値は、電卓に表示される数値です。=(72.26470588)

$$\therefore \bar{x} = 72.3$$

$$\times = (5222.187715)$$

↓  
 $\bar{x}$ の2乗を計算します    ↓  
 $\bar{x}^2$     これを控えておきます

次に、 $\sigma$ を求めますが、その際用いる公式は、<sup>二ヘイヘイジ</sup>二平方二のルートです。

$$\sigma = \sqrt{\frac{\sum x^2}{n} - \bar{x}^2} = \frac{67 \times (M+)}{n} + \frac{95 \times (M+)}{n} + \dots + \frac{88 \times (M+)}{n}$$

↑ここからキー操作

67<sup>2</sup>を記憶の部屋に加える    つづいて、95<sup>2</sup>を記憶の部屋に加える    88<sup>2</sup>を記憶の部屋に加える

MR ÷ 34 = 5222.187715 =  $\sqrt{\quad}$

$\frac{\sum x^2}{n}$     ↓  
記憶の部屋の2乗の総和    5493.617647    控えておいた  $\bar{x}^2$     (16.47513071)  
186783を表示します。    が表示されます。     $\sigma$

$$\therefore \sigma = 16.5$$

○Mなし電卓を用いる場合